

《自己評価シート》

氏名：

I 保育の計画性・地域や自然、社会との関り

内 容		評価
1、園の教育理念・教育方針の理解		
①	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	
②	園の方針、園長の考え方について園長や教頭、主幹保育教諭と話し合い保護者に説明できる	
2、幼保連携型認定こども園教育保育要領の理解		
①	幼保連携型認定こども園教育保育要領を理解し、乳幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思いうかべることができる	
3、教育課程の理解		
①	園の教育課程は、幼保連携型認定こども園教育保育要領をふまえ園の教育理念・教育方針に従い編成されている	
②	園の教育課程は、社会状況や乳幼児の実態、地域性や1年間の子どもの成長を考慮しながら必要に応じて編成されている	
4、指導計画の作成		
①	指導計画は、乳幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	
②	行事は、乳幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れている	
③	架け橋期カリキュラムを理解し、実践している	
5、環境の構成		
①	楽しい雰囲気の中で、安定して遊びや活動ができるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して安全で清潔感のある環境構成を行っている	
②	乳幼児の活動がより豊かになるように乳幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている	
③	異年齢の乳幼児が自然に交流できるような環境の場がある	
6、保育と計画の評価・反省		
①	日々の振り返りを通して、お互いの保育について検討し、評価・反省を加え、乳幼児の生活と自らの保育に繋げている	
7、地域の自然・人々との関わり		
①	地域の自然や施設を指導計画に反映し、実践している	
②	子どもの医療や保険に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談及び連絡先を把握するように努めている	
③	実習生や中高生の保育体験、ボランティアを受け入れる時はその目的や意義を理解・確認している	
8、小学校との連携		
①	園の保育内容が小学校への準備としてつながることを理解している	
②	小学生と交流する機会がある	
③	園と小学校で子どもの情報交換の必要性があることを理解している	
④	小学校が、園での子どもの育ちなどについてどのような情報を必要としているか理解するよう努めている	
9、地域の特性を生かした保育の展開		
①	スキー教室・畑で収穫した野菜で料理教室など、地域の気候を生かした保育を実践している	
②	高齢者との交流の為にデイサービス交流・行事への参加の呼びかけなどを行っている	
10、保育の計画性でよく出来ていると思ったこと		具体的な例
11、保育の計画性でこれからの課題と思ったこと		具体的な例

- 1 よくできている
 2 まあまあできている
 3 あまりできていない
 4 まったくできていない

《自己評価シート》

氏名：

Ⅱ 保育の在り方、乳幼児への対応

* 赤字→変更点

内 容		評価
1、健康と安全への配慮		
①	体調が悪そうな時や万一事故が起きた場合には適切な処置を行いすぐに家庭や関係機関へ連絡している	
②	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認している	
③	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼等の既往症について把握している	
④	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせると共にバランスの取れた発育が促されるように配慮している	
⑤	家庭との連携をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている	
⑥	睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態(呼吸・顔色・嘔吐・汗)およびFSIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックを記録している	
⑦	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄リズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促すよう確認している	
2、乳幼児のみとりと理解		
①	乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している	
②	一人の乳幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる乳幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	
③	個々の乳幼児の発達の姿や課題について見通しをもって保育している	
3、指導とかかわり		
〔心のよりどころとして〕		
①	乳幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている	
②	乳幼児が人とかかわりの楽しさや心地よさを味わえるようにして安心感と自己肯定感が持てるように心がけている	
③	“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	
〔遊び・活動の援助者として〕		
④	不必要に禁止語を用いず不適切な保育をしないようにしている	
⑤	乳幼児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えている	
⑥	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとり、安心感と自己肯定感がもてるような言葉がけをしている	
⑦	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイディアを提供している	
〔その他〕		
⑧	幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている	
⑨	支援を必要とする子が入園した時、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	
⑩	異年齢で活動するとき、環境構成や一人ひとりの成長をみとるよう心掛けている	
4、保育者同士の協力・連携		
①	普段の生活、仕事の中で気を付けた方が良くと感じたことをそのままにせず、伝え合うなどして情報共有している	
②	他の保育者が困っている状況に対し保育のフォローを自ら行う事ができる	
③	指導上配慮を必要とする乳幼児については、園全体で話し合い共通理解をもって対応するようにしている	
④	振り返りやクラス会議等で各保育者へ良くできた所などを伝え、自信が持てるように助言、支援している	
⑤	その子どもに関わる保育者や他の保育者同士が1日の中の情報交換をし合える時間を作るよう支援している	

5、保育者ならびに保育にたずさわるものとしての 資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと	具体的な例
6、保育者ならびに保育にたずさわるものとしての 資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと	具体的な例

1 よくできている
2 まあまあできている

3 あまりできていない
4 まったくできていない

《自己評価シート》

氏名：

Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性(保育者：幼稚園教諭と保育士の総称)

内 容	評価
1、専門家としての能力・良識・義務	
〔専門家としての能力〕	
① 保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている	
② 保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	
③ 保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	
④ 保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	
〔良識とマナー〕	
⑤ 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	
⑥ 朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表わしている	
⑦ 園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	
⑧ 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている	
〔義務〕	
⑨ 教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	
⑩ 締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	
2、組織の一員としての在り方	
① 他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる	
② 子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している	
③ 当番や役割による仕事を理解し確実にやっている	
④ 同僚や関係者に対する感謝やねぎらいの気持ちを伝えている	
⑤ 上司の指示、命令には責任を持って実行している	
3、まわりを感じ取れる感性・アンテナ	
① 幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	
② 社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	

4、保育者としての資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと	具体的な例
5、保育者としての資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと	具体的な例

- 1 よくできている
 2 まあまあできている
 3 あまりできていない
 4 まったくできていない

《自己評価シート》

氏名：

Ⅳ 保護者への対応・守秘義務

内 容		評価
1、情報の発信と受信		
①	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握しようと努めている	
②	クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用してわかりやすく伝える工夫をしている	
③	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、個人面談、連絡帳、電話などを使って伝え合っている	
④	保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて、保育や家庭でのあり方について共通理解を得るように努めている	
⑤	行事等定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってよりよい環境づくりに努めている	
⑥	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	
⑦	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	
2、協力と支援		
①	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	
②	必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	
3、クレームへの対処		
①	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	
②	必要な場合は自園の苦情解決システムに繋げる為の流れが分かる	
4、守秘義務の遵守		
①	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	
②	秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない	
③	秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	
④	秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は持ち出し届出許可書にて園長の許可を取っている	
⑤	秘密情報の書類、電子データのコピーは施設長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分している	
⑥	秘密情報について新たに知りえたことについては、直ちに園長に報告している	
5、対応上のマナー・良識		
①	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	
②	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	
③	電話では、簡潔に要領よく対話する事を心がけている	
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している	
⑤	長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	
⑥	保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	

6、保育者ならびに保育にたずさわるものとしての 資質や能力・良識・適性でよく出来たと思ったこと	具体的な例
7、保育者ならびに保育にたずさわるものとしての 資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと	具体的な例

- 1 よくできている
 2 まあまあできている
 3 あまりできていない
 4 まったくできていない

《自己評価シート》

氏名：

Ⅴ 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

内 容		評価
1、研修・研究への意欲・態度		
①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	
②	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている	
③	保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合う場があり、一緒に話し合うことで問題解決することができる	
2、遊具・教材に関する専門性の向上		
①	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている。	
②	園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	
3、園内の環境に関する専門性の向上		
①	園舎の構造や保育室・遊戯室の位置・大きさを把握し、保育の中で活用している	
②	園庭や遊具などの位置を把握し、保育の中で活用している	
4、今日的課題に関する専門性の向上		
①	子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか知ろうとしている	
②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について知ろうとしている	
③	幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもっている	
④	こどもたちの安心・安全に関する危機管理について知ろうとしている	
5、自らを高めるための学習		
①	趣味や人とのかかわりなど充実した生活を心がけるようにしている	

6、保育者ならびに保育にたずさわるものとしての 資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと	具体的な例
7、保育者ならびに保育にたずさわるものとしての 資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと	具体的な例

- 1 よくできている
 2 まあまあできている
 3 あまりできていない
 4 まったくできていない

≪自己評価シート≫

氏名：

VI 地域における子育て支援

内 容		評価
1、自園の子育て支援事業の理解（全教職員）		
①	地域開放（親子保育園体験日・行事など）について職員間で共通理解の上取り組んでいる	
②	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にパンフレットやおたよりでわかりやすく説明できる	
③	親しみやすい雰囲気を心がけ、利用者に積極的に声をかけている	
2、環境設定（講座および支援センター事業担当者）		
①	子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境を作っている	
②	講座等で子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場を作っている	
③	利用者同士（親同士、子ども同士）の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定をしている	
3、支援の姿勢（講座および支援センター事業担当者）		
①	どの利用者にも公平に接している	
②	利用者同士（親同士、子ども同士）の仲間作りを促し、場の全体に気を配っている	
③	価値観、経験、力量などの利用者の多様性を受入れ、それに合わせた対応をしている	
④	利用者が良好な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけている	
4、育児相談（講座および支援センター事業担当者）		
①	課題がある親子に気づき、利用者の気軽な相談を大切に受け止めている	
②	専門的な言葉を極力使わずに、日常的な言葉でわかりやすく伝えている	
③	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報について説明できる	
④	対応が難しいケースの場合に連携すべき専門機関を知っている	
5、支援の評価・反省（講座および支援センター事業担当者）		
①	魅力的な活動、居心地の良い場を維持するために、現状の課題や今後の運営について話し合っている	
②	地域の子育て支援ニーズを把握し、地域に自園の子育て支援事業を紹介している	
③	講座準備等の業務が円滑に進むよう、協力し合っている	
6、地域における子育て支援について 良く出来ていると思ったこと		
		具体的な例
7、地域における子育て支援について これからの課題と思ったこと		
		具体的な例
		改善策

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない